

協議会たより

第 111 号 発行平成 19 年 10 月 31 日

全国障害者スポーツ大会(わか杉大会)東京都選手団の役員として指導員協議会からコーチとして参加しました。
...お疲れさまでした。

第 7 回全国障害者スポーツ大会を終えて

第 7 回全国障害者スポーツ大会「秋田わか杉」大会が 10 月 13 日(金)～15 日(月)秋田県立中央公園県営陸上競技場他で開かれ、東京選手団は総勢 319 名(選手 238 名,役員 81 名)という大選手団が参加した。選手団は身体障害部門と知的障害部門で編成され、それぞれの障害毎に個人種目と団体種目別にチームが組織された。自分は、陸上競技身体障害部門コーチとして参加したので、陸上競技を中心に「秋田わか杉」大会を振り返ってみたい。

本大会期間中は朝晩雨が降ったものの、日中は天候に恵まれて好条件の中競技が行われた。陸上競技コーチの役割は、ウォーミングアップ、招集補助(車イス使用者は車イス検査)、競技補助(スタート補助、伴走等)、表彰介助が 1 サイクルとして行われる。全国大会が身体単独 2 日間で行われていた頃は、選手は 2 種目を連続で出場したりコーチ陣も休憩なしに次々と選手のアップから表彰までの任を繰り返して行っていた。身体知的合同になり 3 日間の大会となったおかげで選手およびコーチ陣もゆとりを持って参加できるようになった。また、全国大会が身体障害と知的障害の大会が統合され 7 回大会目となるが、第 1 回宮城大会と比べ競技がスムーズに行われるようになったと感じられた。統合当初見られた競技運営の違いや審判の対応の差等の混乱が随分解消されてきた。まだ、細かな課題は見られるが障害に関するのではなく、単に運営の仕方に因ることが大きいと思われる。東京選手団に関していえば、第 1 回大会の頃はお互い遠慮がちに接していた感があったが、今大会では競技場内での一体感が高まってきていると感じた。身体部門の立場から言えば知的部門選手の応援に随分と励まされた。身体・知的部門が別組織でなく一つの東京都選手団になってきた。

全国大会の課題を挙げれば、コンディション作りの難しさがある。大会期間中、朝 6 時宿舎出発、夜 7 時宿舎帰着が続いた。出発は午前 9 時競技開始の選手に合わせるためだが、午後 4 時 30 分に競技のある選手も一緒に行動しなければならず競技開始時間が遅くなる選手ほど調整が難しい。この課題は東京に限らず全参加選手に共通する問題であるが、選手の立場に立てば何とかできないものかと思われる。

また、運営サイドがルール上不確かな場面があった(視覚障害者の伴走者のスタブロ使用不許可など)。このような際、正しいルールを確認することが第一であるが臨機応変な対応が求められた。来年度からはルール改正が行われ東京大会も数年後に控えることから、選手をサポートする立場である指導員が十分にルールを把握しておくことが重要であろう。

今大会では大きく体調を崩した選手もなく無事に終えられたことは嬉しいことであった。最終日の夜、選手の活躍を語りながら飲んだ秋田の酒は本当においしかった。(M)

地域振興事業として荒川区で指導員協議会会員が活動しました。

あらかわ「ボッチャ」フェスティバル

参加者のほとんどが初めて経験するスポーツであった為、技術的な差がなく、ゲームを進める中で上達することを体感していただけたと思います。

また今回は、すべてのチームが障がい者と健常者との混成チームとなったので、各々のチームが上手にコミュニケーションをはかりながら、お互いを思いやりながらの温かい雰囲気にも包まれながら、しかし試合では真剣に勝つことを目指すとても良い大会になったと思います。

そしてこの大会がきっかけとなり、車いすの方が容易に生涯学習センターの体育館を利用できるように、スロープを設置していただける運びとなったことも、この大会を行わせていただいた成果であったと思います。(J)

会員の皆さんの活動報告

第 24 回水泳記録会に運営補助員として参加して

9月9日(日)多摩障害者スポーツセンター主催の水泳記録会に運営補助員(計時員)として初めて参加させていただきました。計時方法は1コースから2人の手動計時で行われました。競技開始に先立ち、バディーを組んだ方から身なりを整えること、そして時計の持ち方、取り扱い方、読み方、記録方法、プールサイドにおける動作、計時時における身体の位置・動作等一連の詳細な説明をいただいたことは、初参加の者にとっては非常に心強いものでした。

更に担当コースに泳者の無い場合でもスタートにあわせ時計を押し計時のトレーニングを兼ね万が一に備えておくことや、記録用紙以外に自分のプログラムにもタイムを記入しておくこと等も実践を通じて教えていただきました。

「分り切っていると思はれる易しい」ことでも「より深く」伝える大切さや、「細心の注意をはらい最善をつくしことに当たる」事は参加選手やスタッフの皆様に対して「敬意をあらわす」意味でもあることを学ばせていただきました。素晴らしい方とバディーを組ませていただき感謝いたしております。

「記録会は回を重ねるごとに盛会になっている」という所長さんのあいさつの言葉をお借りするまでもなく、今回の記録会は延約130組・延参加人数約480人と多数のエントリーがあり、思わず我を忘れ見入ってしまう感動の場面を随所に見ることもできました。

主催者、協力6団体、尊敬する元気ハツラツ審判長をはじめとする競技役員約70人、選手皆さんの家族友人等や所属クラブの指導者関係者の皆さんが記録会をしっかりと支え、大いに盛り上げたことを実感させていただき、微力ながらその一員として活動させていただきましたことに大いなる誇りを感じているしだいであります。感謝。(K)



水泳記録会に参加して

去る9月9日多摩障害者スポーツセンターで行われた第24回水泳記録会に競技役員として参加させていただきました。

浮き輪を使って懸命に泳ぐ子供たちや、リレーで次の泳者につなぐため一生懸命水をかく選手には、「頑張って！もう少しよ」と叫ばずにはいられませんでした。一方全国障害者スポーツ大会東京都代表選手の皆さんの障害を感じさせない泳ぎに圧倒され、「すごいね！速いね！」とみんなで感嘆の声を漏らしました。

(コーチ)「どうやって泳ぐの？」

(選手)「(手をめいっばい上に伸ばして)こうやるの！」

(コーチ)「足は？」

(選手)「両手を上下に素早く動かしてバタバタするの！」

(コーチ)「何を泳ぐの？」

(選手)「クロール！」

(コーチ)「頑張ってるね！」

(選手)「うん、頑張るよ!!」

競技が始まる前のコーチと選手の会話です。ゴール地点からのコーチや母親の「こっちだよ！頑張ってる！」の呼びかけに応じて、懸命に泳ぐ姿が心に残りました。「頑張るよ！」の気持ちがひしひしと伝わってくる記録会でした。泳ぎ終わったあとの選手・コーチ・ご家族の皆さんの心からの笑顔が実に印象的な大会でした。また来年も皆さんの笑顔に逢いにいきたいと思っております。(B)

競技規則改正の研修会に参加して

6月10日(日)日本障害者スポーツ協会の技術委員である高山浩久氏による研修会に参加しました。全国精神薄弱者・知的障害者大会から全国身体障害者・知的障害者大会に統合するまでの経緯や大会主催側の役員、ボランティアが選手団への宿泊施設の対応、配慮、その他諸々の裏話も聞くことができつくづく大変さを感じました。来年度からの競技規則改正の概要をいち早く知ることができあつという間の2時間でした。貴重な話を聞くことができました。ありがとうございました。(N)

会員の皆さんいつも活動報告にご協力いただきありがとうございます！感謝！(A)

理事会報告

平成 19 年度 指導員協議会第 4 回理事会

記録 三浦

日時 平成 19 年 8 月 21 日 (火) 午後 7 時から

出席 前田、岡、秋山、平野、佐野(守)、井上、江上、高山、植田、三浦、佐野(里)、大森、松浦、荒井、矢本、島、根本

報告

前田～ジャバラ水泳(大阪)終了、来年度関東ブロックで中級研修(予定)

* 各種の協力依頼については理事会で検討のうえ会員の皆様に周知します。

都協会から

高山～都大会の協力ありがとうございました。秋田大会のエントリー完了。役員の選考も終了しました。9月20日規則改正、ジャベリックスローの研修あり。

矢本～納涼祭終わりました。たこ焼き協力ありがとうございました。

前田～東京国体実行委員会スタートした。本大会と同時開催の予定。障害者国体は23区での実施が予定されている。協議役員の研修が課題となっている。

研修担当から

研修会の予定～ 11月25日 知的障害者の水泳指導

12月16日 身体障害者のリラクゼーション

場 所 、 いずれの会場は、多摩障害者スポーツセンター

総務から

植田～指導員協議会ホームページ検討中。年末に忘年会を行う予定です。

広報から

秋山～次回広報の発行は10月31日(予定)

次回理事会は 10月19日 王子障害者スポーツセンターです。

平成 19 年度 指導員協議会第 5 回理事会

記録 三浦

日時 平成 19 年 10 月 19 日 (金) 午後 7 時から 王子 SC

出席 前田、岡、植田、秋山、近藤(き)、荒井、相原、平野、佐野(守)、井上、江上、高山、三浦、近藤(和)、大森、松浦、矢本、島、根本、有泉

報告

近藤(和)～全国大会協力ありがとうございました。314名の参加、宿が10箇所、出発も3回に分けて行った。まとまったの行動が出来なかったが、各競技でスムーズに動けた。シャトルバスなど、足の問題が厳しかったが、団体ではほとんどの競技でメダル獲得できた。

協議事項

1. 総務

(1) スポーツ協会役員との懇談会を11月8日(木)都協会の事務所で行う。内容は人材バンク 地域振興について

(2) 忘年会を12月16日(日)水泳の研修終了後、国立周辺にて行います。時間は夜5時からの予定です。担当理事 三浦

(3) 地域振興

平成19年度指導員養成講習会について

- ・練馬区、話はしているが、今年度は無理。
- ・フォローアップ研修もいいが、実際に障害者と触れ合ったことが無い人が多い。センターと協力して、何か事業ができないか？

杉並区地域大学で障害者スポーツ指導者養成の企画あり、活動の場、受け皿など、現在検討中です。

人材バンク活用の状況

- ・小平の教室など、ハガキで周知したが6～7名の小平在住の指導員の参加が得られた。10月8日の三鷹のフェスティバルなど、人材バンクの反応が良い。
- ・王子センターでも板橋区イベントに参加、反応は良い。みんなの集い(地域交流)に手伝ってもらえると助かります。
- ・現在、人材バンク登録者は213名。

- (4) 登録用紙の変更について。
 (5) 協議会ホームページについて。
 2. 研修 予定通り実施、水泳研修終了後は3月総会時に行う。(予定)
 次回理事会は 12月13日(木)7時~都スポーツ協会です。



指導員協議会からお知らせです!

● 忘年会

まだ実感がわきませんが...そんな時期となりました。

会員のみなさんのご参加お待ちしております。

いつ:平成19年12月16日(日)午後5時ごろから

どこ:国立駅付近(予定)

● 平成19年度日本障害者水泳連盟主催指導者研修会のお知らせ

日 時:平成19年度12月1日(土)、2日(日) 午前9時から

場 所:東京都多摩障害者スポーツセンター

内 容:脳血管障害者へ導入方法 講義および実技

障害別指導方法 その他

参加費:日本障害者水泳連盟登録会員 ¥8000

その他参加希望者 ¥13000

締め切り:11月14日(水) 人数に限りがあります。

その他:1日のみの参加は不可

申込方法:希望者は、住所、氏名を書いて東京都障害者スポーツ指導員協議会事務局まで**FAX(03-5206-5587)**にてお願いいたします。

決定者には後日関係書類をお送りいたします。

● 水泳研修会のお知らせ

11月25日、12月16日に研修会があります。参加募集受付中です。

まだ人数に余裕がありますこの機会にお申し込みください。(詳細は前回の協議会たよりを!)

申込方法は、指導員協議会事務局まで・・・



編集後記

「つるべ落としと」昔の人は素晴らしい表現をしたものです。そんな風流なことを感じながら、これからもっと寒くなるんだあ~思うと今になってあの暑い暑いと叫んでた頃が懐かしく思います。今年の紅葉は例年より遅れているみたいですが真っ赤な紅葉を見るとなぜか癒されます。東京では街路樹のはなみずきの葉っぱがポチポチ赤くなり始めました。今夜もゆっくりお風呂に浸かってのんびりしよう! 皆さん風邪をひかないように気をつけてくださいね。(N)